

TABI-SAKE
旅酒



プレスリリース
2023年10月25日
株式会社旅酒

28 都道府県のホテル・旅館対象
旅酒が販売ルート拡大でパートナー募集
「旅をしなければ、飲めない酒がある」

全国 47 都道府県の老舗酒蔵と連携する株式会社旅酒(取締役社長:長縄 明彦、資本金:5,000 万円、<https://tabi-sake.com/>)は 11 月 1 日より、新型コロナウイルス対策の行動制限解除で国内外の旅行者・宿泊者が増加していることなどから、同社ブランド商品「旅酒」の販売ルートを拡大、新たにパートナーとなるホテル・旅館を募集します。

「旅酒」は「旅をしなければ、飲めない酒がある」をコンセプトに、全国各地 51 の “地酒、(日本酒 43、焼酎3、琉球泡盛2、梅酒2、ウイスキー1)をリリース*(1)、全国 47 都道府県のお土産店、酒店、道の駅はじめホテル・旅館のほかコンビニや空港・駅売店など 302 カ所*(2)で販売しています。

“地酒、は元来、地域の材料を使って造られ、その地域で愛飲されていました。流通が発達した今では通販で購入できるようになりましたが、「旅酒」は、通販では購入出来ない現地に行かなければ買えない “地酒、として、あえて旅先で現地の風光明媚な景色、郷土料理とともに味わってもらうことで地域振興の起爆剤にしたいとの思いから生まれました。

「旅酒」は、すでに全国 47 都道府県で販売、19 県 35 カ所のホテル・旅館で取り扱っていますが、国内外の旅行者・宿泊者の増加に伴ってお土産としてのさらなる需要が見込まれること、旅酒を購入できる宿泊先ホテル・旅館の問い合わせが増えてきていることなどから、新たに 28 都道府県*(3)でパートナーを得たいと考えています。

「旅酒」ファンの方は、趣味が温泉巡りだったり、鉄道旅やツーリングだったり、海外旅行者だったり様々です。全ての旅酒 “制覇者、も 10 名となり、「通販全盛の時代に 180 度逆行して、現地に行かなければ手に入れることができないことが魅力」 「数字が入ったボトルが気に入り、購入してみた」といった声が寄せられています。

株式会社旅酒では現在、全国 47 都道府県で「旅酒」の販売を展開、卸売との取引を行っています。新たに「旅酒」の販売パートナーとして連携していただけるホテル・旅館の皆さまには下記までご連絡いただければ、お取引の内容・方法等に関しましてご相談させていただきます。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社旅酒 長縄明彦 (ながなわ あきひこ)
電話：080-7432-7383 FAX：045-345-4941
メール：naganawa@tabi-sake.com
公式サイト：tabi-sake.com

ホテル・旅館	35
空港・駅売店	12
土産店	99
道の駅	49
コンビニ/道の駅	1
コンビニ	23
酒屋	61
デパート	4
飲食店	4
酒蔵売店	14
総計	302

* (2)